

令和2年度 高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修

高次脳機能障害についての基礎を学ぶ「高次脳機能障害 入門講座」を受講された支援者の方を対象に、さらに一歩踏み込んだ内容の研修として、モデルケースのグループ検討や演習を取り入れた研修を実施します。是非、ご参加ください！



<ケース検討編>

日 時	内 容
令和2年 11月27日(金) 午後1:30~4:00	第1回 『障害特性にあわせた支援方法の検討』 高次脳機能障害のある方を支援する際、どのようなポイントを押さえて障害特性を把握し、支援方法を検討していけばよいか、モデルケースを通して理解を深めます。その後、支援者間での情報交換や交流の時間をもちます。
令和2年 12月25日(金) 午後1:30~4:00	第2回 『環境調整や代償手段の活用、支援者の役割について』 実際に、モデルケースを通して、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を検討し、環境調整のポイントや代償手段の活用方法、支援者の役割を学びます。



<手順書演習編>

令和3年 1月22日(金) 午後1:30~4:00	第3回 『作業手順書の作成演習』 高次脳機能障害のある方の目的とする行動の定着を目指すためには、障害特性に配慮した手順書を用い、同じやり方で繰り返すことが効果的です。モデルケースの作業手順書を実際に作成し、作成の基本を学びます。
令和3年 2月19日(金) 午後1:30~4:00	第4回 『移動手順書の作成演習』 高次脳機能障害により、屋内移動や外出時の道順理解及び公共交通機関の利用が難しい場合は、移動手順書を用い、支援者の関わりを統一することが効果的です。モデルケースの移動手順書を実際に作成し、修正のポイントを学びます。

会 場：京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室（京都市中京区壬生仙念町30番地）

講 師：京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーター

受講対象者：高次脳機能障害のある方の支援機関のスタッフで、当センター開催の「高次脳機能障害入門講座」を受講済みの方又は、高次脳機能障害の基礎知識がある方

定 員：先着30名

参 加 費：無料

申 込 方 法：裏面の申込書に必要事項を記載し、FAXにてお申込みください。

（電話によるお申込みも受け付けます。）

申 込 締 切：各開催日の2日前（ただし、定員に達し次第、締め切ります。）

※開催当日の午前10時時点で、京都市に暴風警報、特別警報が発令されている場合は、開催を中止します。

各自、ご確認いただきますよう、お願いいたします。



京都市



京都市印刷物 第315088号
(令和2年3月)

京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。発行 京都市高次脳機能障害者支援センター

【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市中京区壬生仙念町30番地）

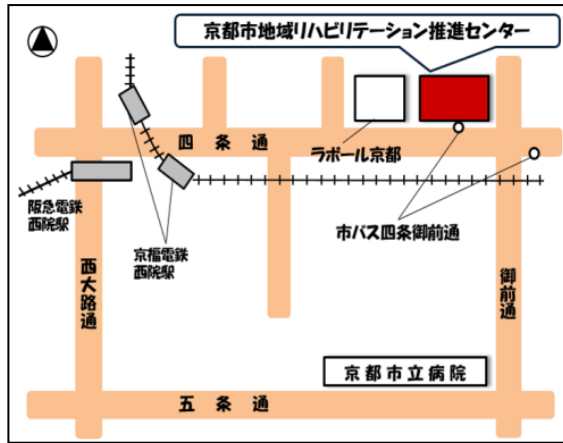
※京都市高次脳機能障害者支援センターは、

京都市地域リハビリテーション推進センター相談課内にあります

TEL：(075) 823-1658 FAX：(075) 842-1541

【受付時間】月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

8：30～12：00及び13：00～16：00



※公共交通機関をご利用ください。

「令和2年度 高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修」参加申込書

FAX 番号 075-842-1541



申込者氏名 及び職種	ふりがな 氏名	職種 〔 〕
所属先事業所名		
連絡先 Tel		
事業所所在地		
参加希望日 (□にチェック)	<ケース検討編> <input type="checkbox"/> 第1回 令和2年11月27日(金) <input type="checkbox"/> 第2回 令和2年12月25日(金)	<手順書演習編> <input type="checkbox"/> 第3回 令和3年1月22日(金) <input type="checkbox"/> 第4回 令和3年2月19日(金)
(参考) 入門講座の 参加に関して	当センターの入門講座に参加されたことがありますか。 (ある・ない ○印をお願いします。) ※当研修では、入門講座を受講された支援者の方又は高次脳機能障害の基礎知識のある支援者の方を対象としています。入門講座のような基礎的な内容は含みませんので、ご理解の上申込みいただきますようお願いいたします。	